

調査・研修等計画届出書

令和 4年 9月26日

瀬戸市議会議長 様

議員名 柴田 利勝 ㊟

政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和 4年10月13日から10月14日まで（1泊2日）	
調査先・研修名	長崎県長崎市（第84回 全国都市問題会議）	
会場名（会場所在地）	長崎県長崎市 出島メッセ長崎	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	第84回 全国都市問題会議 個性を活かして「選ばれる」まちづくり ～何度も訪れたい場所になるために～ 第1日 10月13日（木） 基調講演・主報告・一般報告3件 第2日 10月14日（金） パネルディスカッション・行政視察	
議長名の依頼	要・ <input checked="" type="checkbox"/> 不要	依頼先（名称）
同行者名	山田治義・宮菌伸仁・高島淳・柴田利勝・三木雪実 長江公夫・富田宗一・小澤勝・西本潤・朝井賢次	

※行程表を添付してください。

調査・研修等報告書

令和4年 10月18日

瀬戸市議会議長 様

議員名 柴田利勝 ⑩

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和 4年10月13日から10月14日まで（1泊2日）
調査先・研修名	長崎県長崎市（第84回 全国都市問題会議）
会場名（会場所在地）	長崎県長崎市 出島メッセ長崎
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	第84回 全国都市問題会議 個性を活かして「選ばれる」まちづくり ～何度も訪れたい場所になるために～ 第1日 10月13日（木） 基調講演・主報告・一般報告3件 第2日 10月14日（金） パネルディスカッション・行政視察
調査先の事業の現状・課題、研修で学んだこと・キーワード等	
長崎市 全国都市問題会議 A, 全国市長会会長 相馬市長 立谷氏 コロナの関係で3年ぶりの開催である。この間自然災害もあったが、それらに対して支援も行ってきた。各都市お互いに助け合っていくべきである。コロナ予防注射も5か月間隔でなく3ヶ月にすべきと訴えている。 地域の為にどうしていくかを考えていくいい機会となる今回、実りある会でありますように、そうして地域に持ち帰り地域振興に役立てて欲しい。 B, 田上 長崎市長	

人口の多さや経済力の高さと言った数字で比較できる価値もさることながら、暮らしや歴史・文化の深さなど、その都市ならではの価値にも注目されるようになってきた。この価値を求めて大都市から地方へと新たな人の流れが生まれ始めている。

この機会に住んでいるまちの価値を見直すことで、人を惹きつける魅力と、新しい時代の多様な都市のあり方が見えてくるかもしれない。価値を見つける、きづくでは長崎は軍艦島、長崎半島から恐竜の化石（10m級）の発見から恐竜博物館、「中島川・寺町・丸山エリア」で町並み保存から和のまちなみづくり、坂の上園（若い人が農地を作る）、長崎大学の高度安全実験施設も価値ある施設（2日目視察を行った）、空き家（若者の住まい）コミュニティは地域活性化地に貢献、出島橋、鍋冠山展望台、などと市民の支援などで町の賑わいを高めている。「長崎さるく」でまち歩きからまちの魅力が気付ける。さるくは、ぶらぶら歩くこと。交流の中で価値を見つめなおし、その先にある、「都会でもなく、田舎でもない、ちょうどよい長崎らしさ」「長崎ライフ」がよりゆたかなものになることで、町で暮らす人にも、まちを訪れる人にも「魅力的な街となり、持続可能な地域社会の構築に繋がるもの」と考える。

島根県立大学 地域政策学部 田中氏

地域との新しい関わり方・関係人口

関係人口とは短期間の交流や観光という関りでなく、長期間暮らし続ける定住でもなくその間にある新しい地域との関わり方、そしてこの新しい関わり方は、若い世代との相性が良いという点もポイント。何度も訪れたい場所週末住民、コミュニティシルバー、これから考えると」1, 名前が覚えられる規模、2, 準備から片付けまで一緒に、3, 住民や背景も伝える（ストーリー化）。

公立鳥取環境大学の学生2人は「ふるさとワーキングホリデー」の受け入れをはじめ、地域の一員として得意なことや好きなことを活かしたイベントを企画実施することをサポートしている。新しい潮流としてふるさと難民（つながりを欲する）つながりに価値がある。ゼロから無理無理価値を作りだすことはない。

山形市長 佐藤氏

山形県には、松尾芭蕉が訪れた山寺立石寺、樹氷で名高い蔵王温泉スキー場、山形盆地は寒暖差が大きく良質の水に恵まれ、米、サクランボ、ブドウ、多種の野菜、それに多くのラーメン店など魅力的な地域資源を有する。このような中で山形市は「健康医療優先都市」「文化創造都市」を2大ビジョンとして積極的に施策展開している。

山形市は、山形国際ドキュメンタリー映画祭を2年に一回、山形交響楽団は4年度50周年を迎える、さらに東北芸術工科大学が立地し、29年にはユネスコ創造都市ネットワークの加盟認定を受けた。健康については歩くことをベースに健康で

暮らしやすいまちづくりで、市民の健康寿命の延伸を目指している。食事 (S)、運動 (U)、休養、社会 (S)、禁煙・受動喫煙防止 (K) に留意する「SUKSK(すくすく)生活」を推進している。保健所にシンクタンクを設置し、医師、保健師、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士など専門職の知見を活かし、市民の健康に関するデータを科学的に分析し、フレイル対策や減塩事業などの取り組みを進めている。

こうして特に力を入れるのが「ウォーカブルなまちづくり」で取り組んだのが「健康ポイント事業 SUKSK」でスマートフォンアプリを活用し、歩数によって「健康ポイント」がたまり、抽選で山形市の特産品が当たる仕組みである。山形市は雪国のため冬のウォーキングのため消雪歩道に整備を行いやく 38 キロまでになった。また、公共交通の利用促進を行い、ノーマイカー通勤を本格導入し、「エコ通勤優良事業所認定」を山形市として取得した。鉄道駅や路線バスのない地区ではタクシーを利用した新しいコミュニティ交通のモデル事業を開始した。さらに電動自転車にも着目し、サイクルロードの整備も進めている。

以上のように将来ビジョンと結び付けた各種政策を展開した結果、まちが向かうべき方向性ははっきりし、市民や企業が連動して同時多発的にさまざまな取り組みが進むという現象が起きている。今後も、こうした方向を更に推し進めながら、対外的な発信を強めることで山形市が何を目標しているかという事を市内外の多くの方に知っていただき、その方向性に沿った人材が集うことで結果として、「選ばれるまち」になっていくものと考えている。

パネルディスカッション 東京都立大学 大杉 氏

まちづくりとは、それぞれの地域で醸造されてきた、根っこにある地域価値を再認識しつつ、そこを起点にして、これからの未来図（未来の地域価値を実現させた姿）を地域で思い描き、その実現を試みようとする、価値実現のプロセスであると定式化して考えることが出来る。「選ばれる」まちづくりを考える場合も「根っこにある地域価値」を出発点に問いたい。

パネリスト

ゆとり研究所所長 野口 氏

長崎県雲仙市は温泉観光地であるが、鍋島藩の武家屋敷が残る、重要伝統的建造物群保存地域でもあり、さらに、農業、漁業も盛んな地域でもある。このように多様な表情を持つ市域で有るから、地域おこしも様々な人が色々活動をしている。そうして、人は妙に分断されている、まちの境、職種や年齢、性別によっても縦割り、観光協会、商工会、JA、自治会、PTA など、さらに青年部、婦人部、旧住民、新住民、そこで野口氏が言い出しっぺで団体に関係なく、人が集まってお互いを知り合う場を作ろうと考えた。なにもない楽しく学べてワイワイできるサロンのような場、求めるものも様々、集まるネットワーク的なつながり。その集まりに名前を付けた、「雲仙人(くもせんじん)」。仙人は、何か神通力を持っている。

催しをつくるのが上手い人、バンドをやる人、伝統野菜を作る農家、地元の魚をイタリア料理で出す店主、プリン作りが上手な宿の女将、凧作りを子どもたちに教える高齢者、休耕田にオリーブを植える人、など「モノづくり」「コトおこし」に頑張るならみんな仙人だ、地域おこしの協力隊はこのような人たちで出来上がった。毎月、ゆる〜い楽しいサロンを開催市民がスピーカーになり、その人の話を聞いた後、色々なアイデアを出し合う。「ジャガイモ農家のフェスづくり」「橘湾の煮干しを広めたい」「藍を食卓に」「祭りの作り方」など計 26 回地域おこしは難しい理屈を並べるのではなく、普段の暮らしの中で横の人を気遣う、自分の出来ることの中で地域を意識することである。市役所と野口氏でスタートした働き「仙人プロジェクト」から、「雲仙人の会」という民間団体が立ち上がった。

山梨大学地域社会システム学科教授 田中 氏

政府が「ワ〜ケーション」の推進をして2年である。ワ〜ケーションとは仕事（WORK）と休暇（VACATIONN）を組み合わせた造語であり、テレワークの活用などにより、リゾート地や地方等の普段の職場とは異なる場所で働きながら休暇取得を行うもの、という考え方で、休暇期間中にも一定の仕事をする。あるいは仕事期間中に並行して休暇を取得することが出来る仕組み。

仕事を職場の外に持ち出すことで長期間の滞在、複数回の訪問を促す様々な活動をライフスタイルとして定着させれば、結果的に移動を促進し旅行需要を拡大していく為の総合的な施策と捉えることが出来る。

NPO 法人長崎コンプラドール理事長 桐野 氏

長崎の玄関口のまちづくりに合わせて市民と協働した「まちぶらプロジェクト認定制度」がある。これは市長が市民活動に期待を込めて認定・応援するもので、その活動が確実に長崎の為になるという安心感が生まれ、市民のやりがいづくりに大きく寄与している。このきっかけは市民協働による「長崎さるく」である。これは、市民が「まち歩きガイド」であり、まちの良さを伝えるには、自分が誰よりもそのまちを愛することである。町を愛している人が話すからこそ、訪れる人が自分のまちや思い出に重ねて共感し、自己肯定が生まれ、自分のまちや家族、そして自分自身が大好きであることの再確認につながる。市民も町の良さを知る事である。

兵庫県伊丹市長 藤原 氏

伊丹市は「清酒発祥の地」澄酒を開発した。その酒を江戸へ送り、財を成したのが鴻池財閥となる山中本家である。それまでの酒はにごり酒で、傷みやすいものであった。江戸に送られたお酒は「下り酒」とよばれた。江戸市中で最高だった「剣菱」も戦前までは伊丹で作られていた。伊丹のお酒に魅了された、井原西鶴や頼山陽など著名な文人墨客が多く訪れ、俳諧をはじめとした多彩な文化が醸

成された。文化庁が認定する日本遺産は兵庫県が9件で日本最多であるその中に「清酒発祥の地」がある。

このように歴史的に重要な資産のあるまちの宣伝についてタレントを利用してにぎわいを創出、何度も訪れたくなるまちを目指し、それが地域の力となるようにしている。

（以下、本文の重複と思われる内容が繰り返して記載されています）

調査・研修の成果・考察
(瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等)

（以下、本文の重複と思われる内容が繰り返して記載されています）

個性を生かした選ばれるまちづくりで、何度も訪れたい場所になるために各市がそのまちの良さを利用しながらまちづくりを行っていることが解った。本市についても今後自分なりに考えて、各委員会や議会で提案できることは積極的に行っていきたい。

行程表

乗り換え案内ジョルダン <http://www.jorudan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
4 年 10 月 12	中部国際空港	飛行機	片道	熊本空港	603	km	31,640	円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
日付	ANAクラウンプラザホテル長崎				095-818-6601		円		
備考欄									

31,640 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
4 年 10 月 13						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
日	ANAクラウンプラザホテル長崎				095-818-6601		円		
備考欄									

小計 0 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
4 年 10 月 14	長崎駅ターミナル	バス	片道	長崎空港		km	1,000	円	円
	長崎空港	飛行機	片道	中部国際空港	671	km	34,240	円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
日							円		
備考欄									

バック等による割引など

小計 35,240 円

5,190 円

宿泊費 合計

交通費 合計

0 円

66,880 円

申請額合計
(宿泊費+交通費-割引代)

61,690 円